

News Release

アウトドアにおける製品事故の防止について（注意喚起）

N I T E（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、キャンプやバーベキュー等のアウトドアにおける製品事故^{※2}が、平成20年度から24年度までの5年間に合計40件^{※3}ありました。

被害状況別にみると、死亡事故1件、重傷事故10件、軽傷事故14件、拡大被害^{※4}3件、製品破損^{※5}10件等となっており、特にこんろ類などの加熱機器において、一酸化炭素中毒ややけど等、重篤な人的被害発生割合が高い傾向にあります。

アウトドアでの製品事故は、製品に起因して起きる事故のほかに誤使用、不注意等の使い方にかかわる事故も多く、次のような事故が発生しています。

- カセットこんろを2台並べ、その上に鉄板を置いた状態で使用していたため、加熱された鉄板からの放射熱によってカセットボンベが過熱され、爆発して15人がやけどを負った。
- カセットこんろに金網を載せて炭の火おこしをしていたため、炭の放射熱によってカセットボンベが過熱され、爆発して1人がやけどを負った。
- バンガロー内で、換気を十分に行わないまま七輪を使用したために、一酸化炭素中毒が発生して、2人が死亡した。
- レジャー用の折りたたみ椅子を屋外で長期間保存したことによって座面の生地強度が低下したため、使用中に生地が切れて破断、転倒して、重傷を負った。
- スプレー式の冷却剤を、本来1～2秒吹き付けて使用するところ、約5秒バンダナに吹き付けて肘に巻いたことによって、バンダナに生じた過剰の氷に長時間接触して、凍傷を負った。

アウトドアでの製品事故は、製品の保管時や使用の際の注意によって未然に防げる事故が多くあり、キャンプやバーベキューを行う機会が増加する時期に際して、製品を正しく使用して事故を未然に防止していただくために、注意喚起を行うこととしました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

（※2）テントやレジャー用折りたたみ椅子等のキャンプやバーベキューで使用されるアウトドア用品を中心に、アウトドアで使われたカセットこんろや七輪等の事故を含む。

ただし、スポーツ用品である登山用品やスキー用品、水着、遊具等は除く。

（※3）平成26年4月30日現在、重複、対象外を除いた件数で、事故発生日に基づき集計。

（※4）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

（※5）被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

1. アウトドアにおける製品事故の発生状況

N I T Eに通知された製品事故情報のうち、キャンプやバーベキュー等のアウトドアにおける製品事故が、平成20年度から24年度までの5年間に合計40件ありました。

(1) 月別事故発生件数

図1に「月別事故発生件数」を示します。

アウトドアにおける製品事故40件について、発生月別に分類すると5月頃から11月頃までで事故が多く、特に7月から8月にかけて発生件数が増加する傾向があります。

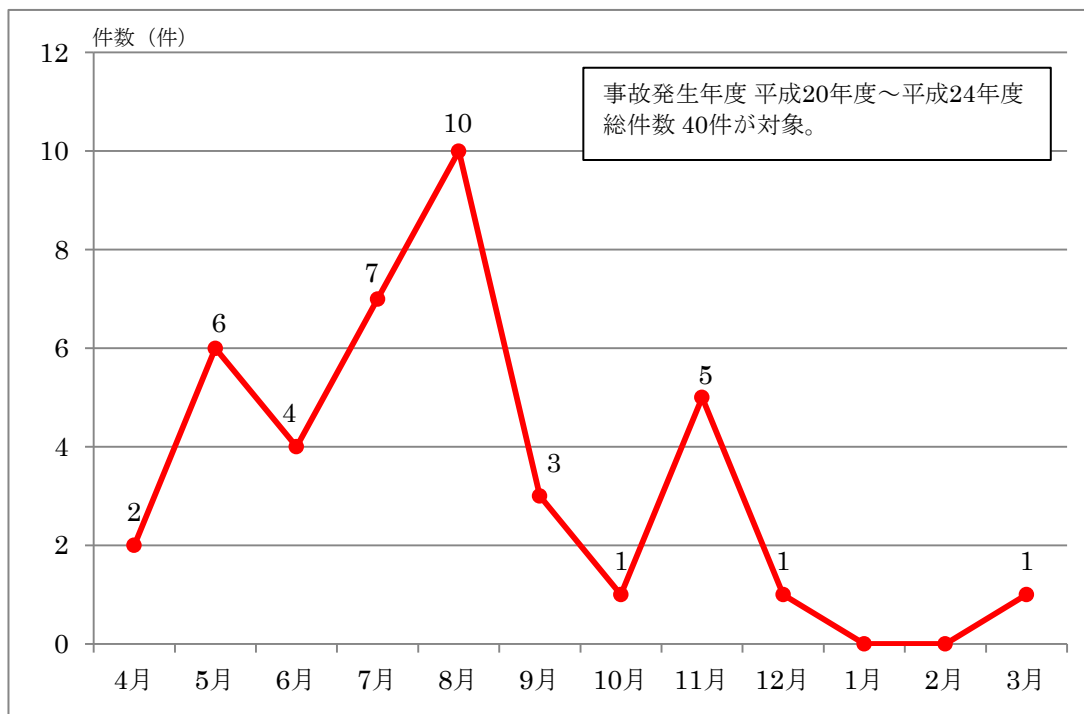


図1 月別事故発生件数

(2) 使用期間別の被害状況

事故40件のうち使用期間が判明した事故24件について、図2に「使用期間別 被害状況」を示します。

アウトドアにおける製品事故は、使い始めから1年未満に事故発生件数が多くなっています。

1年未満の事故12件のうち、折りたたみ椅子の製造不良などの製品に起因する事故は5件、携帯用ガスランタンのねじの締め付け不足によるガス漏れなどの使用者の不注意・誤使用による事故は4件発生しています。

また、使用19年で発生している事故2件は、ガスカートリッジ直結型のガスこんろで、リングパッキングが経年劣化したためにガスが漏れて引火したもので、使用24年の事故1件は、カセットこんろの五徳つき汁受けを、収納状態（裏返し状態）のまま使用したことによってガスの内圧が高まり、破裂したものです。

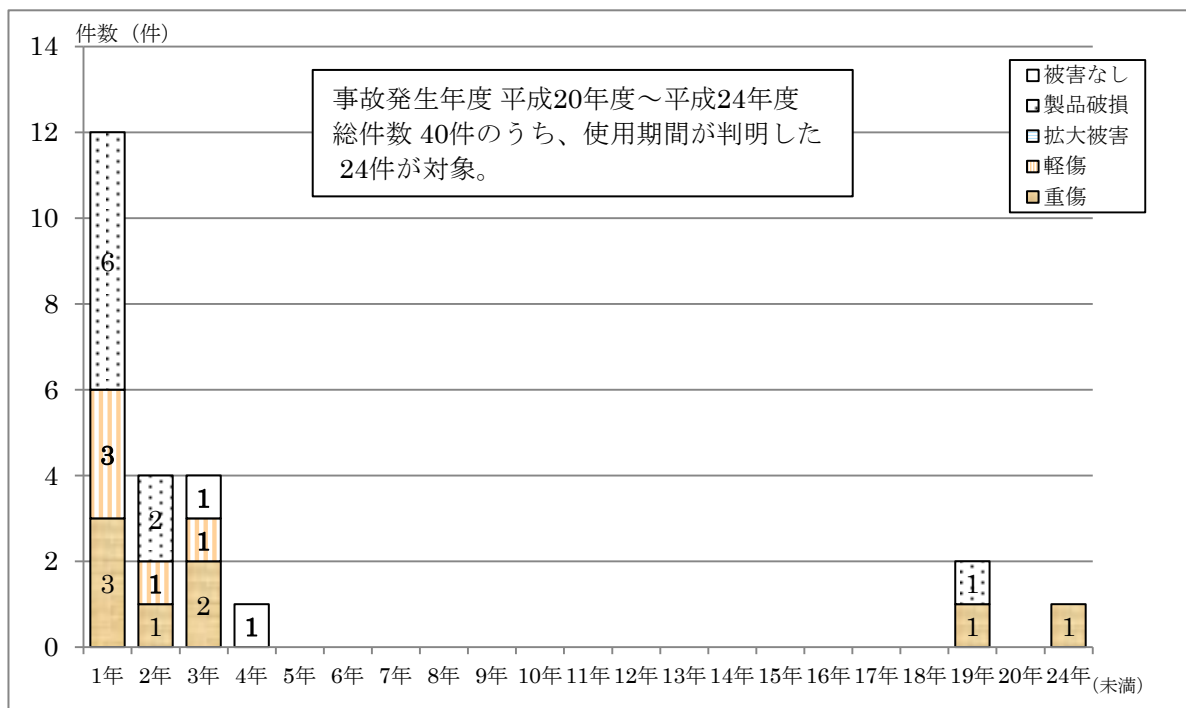


図2 使用期間別 被害状況 (単位: 件)

(3) 製品別事故件数

(ア) 種類別 被害状況別 事故件数

表 1 に「種類別 被害状況別 事故件数」を示します。

アウトドアにおける製品事故においては、こんろ類（カセットこんろ、ガスカートリッジ直結型ガスこんろ等）、ガスバーナー等の加熱機器による事故が合計 26 件（65.0%）発生しており、発生件数が多い傾向にあります。

また、「死亡」や「重傷」、「軽傷」が合計 25 件（62.5%）発生しており、人的被害に至る割合が高い傾向にあります。このうち 1 件の死亡事故は、バンガローで七輪を使用したために発生した一酸化炭素中毒によるものです。

表 1 種類別 被害状況別 事故件数（単位：件）

品名	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし	合計
こんろ類		4	6	1	5	1	17
ガスバーナー			3				3
ガスボンベ			2		1		3
ランタン			1		2		3
折りたたみ椅子		3					3
ガスストーブ				1		1	2
七輪	1						1
その他		3	2	1	2		8
総計	1	10	14	3	10	2	40

(イ) 事故原因区分別 発生件数 ※各分類は別紙参照

図 3 に「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

「製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3）」は合計 10 件（25.0%）

「製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F）」は合計 19 件（47.5%）

「原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除いた G）」は 10 件（25.0%）

「調査中のもの（事故原因区分 H）」は 1 件（2.5%）

発生しており、製品に起因しない事故の発生割合が高い傾向にあります。

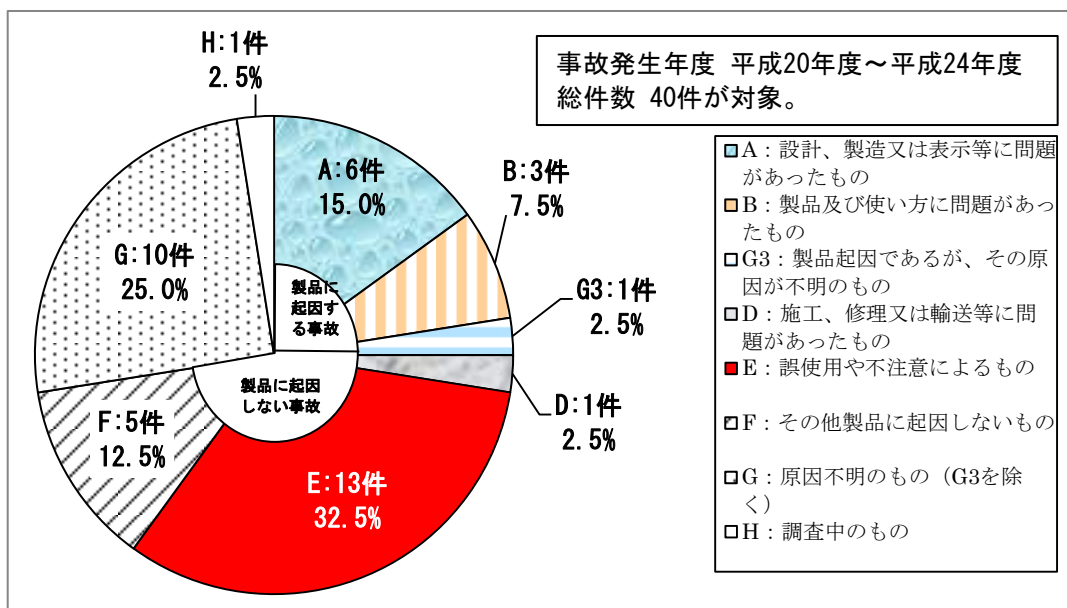


図3 事故原因区分別 事故発生件数

(4) 事故原因区分別 被害状況

表2に「事故原因区分別 被害状況」を示します。

「製品に起因する事故」では、事故原因区分Aが6件で最も多く、使い方も事故に影響した事故原因区分Bは3件となっています。

「製品に起因しない事故」では、使用者の誤使用や不注意な使い方による事故原因区分Eの事故が13件と最も多く、また、死亡・重傷などの重篤な被害も多くなっています。

表2 事故原因区分別 被害状況※6

事故原因区分		被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの		2 (2)	1 (1)		3			6 (3)	
	B:製品及び使い方に問題があったもの		1 (3)	1 (3)		1			3 (6)	
	C:経年劣化によるもの								0 (0)	
	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの			1 (1)					1 (1)	
	小計		3 (5)	3 (5)		4 (0)			10 (10)	
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの		1 (1)						1 (1)	
	E:誤使用や不注意によるもの	1 (2)	2 (6)	6 (24)	1	3			13 (32)	
	F:その他製品に起因しないもの		2 (2)		2	1			5 (2)	
	小計	1 (2)	5 (9)	6 (24)	3 (0)	4 (0)	0 (0)		19 (35)	
G:原因不明のもの (G3を除く)			1 (1)	5 (10)		2		2	10 (11)	
H:調査中のもの			1 (1)						1 (1)	
合計	事故件数 被害者数	1 (2)	10 (16)	14 (39)	3 (0)	10 (0)	2 (0)		40 (57)	

(※6) 平成26年4月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 現象別事故発生状況及び事故事例

(1) 事故の現象別被害状況

表3に「現象別 被害状況」を示します。

表3 現象別 被害状況^{※7}

現象の内容		被害状況	人的被害			物的被害		被 害 じ	合 計
			死 亡	重 傷	軽 傷	拡 大 害	製 品 損 破		
こんろの過熱	五徳を正常にセットしなかったため、カセットこんろが過熱されて爆発		1 (4)	1 (4)				2 (8)	
	大きい鍋や炭の火おこしの放射熱によってカセットこんろのボンベが過熱されて爆発		1 (2)	1 (14)				2 (16)	
ガス漏れ・引火	パッキンの劣化損傷によってガスの気密性が低下してガスが漏れて引火		1 (3)	- (2)		1		2 (5)	
	他社製のボンベを接続したため、接続口からガスが漏れて引火			2 (3)				2 (3)	
	ボンベを正常な位置でない状態で取り付けたため、ガスが漏れて引火			2 (2)		1		3 (2)	
CO中毒・冷却スプレー・その他	狭い場所で換気を十分行わないまま七輪を使用したことによる一酸化炭素中毒	1 (2)		- (1)				1 (3)	
	冷却スプレーの過剰な吹き付けによる凍傷			1 (1)				1 (1)	
	椅子を屋外で長期間保存し、座面が劣化して破断・転倒		1 (1)					1 (1)	
	その他		3 (3)	6 (11)	3	5	2	19 (14)	
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			2 (2)	1 (1)		3		6 (3)	
調査中			1 (1)					1 (1)	
合 計	事故件数 被害者数	1 (2)	10 (16)	14 (39)	3	10	2	40 (57)	

(※7) 平成26年4月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(2) 事故事例の概要

NITEに報告された事故情報のうち、キャンプやバーベキュー等のアウトドアで製品を使用するにあたって、注意が必要と思われる事例を示します。

(ア) こんろ類、ガスボンベ等の加熱機器

① 放射熱によってカセットこんろのボンベが爆発してやけどを負った

平成20年9月20日（東京都、10歳代・男性、重軽傷）

【事故内容】

カセットこんろを使用していたところ、カセットこんろに接続していたカセットボンベが破裂し、15人がやけどを負った。

【事故原因】

カセットこんろを2台並べ、その上に鉄板を置いた状態で使用していたため、カセットこんろの圧力感知安全装置が作動した後も、加熱された鉄板からの放射熱によってカセットボンベが過熱され、爆発したものと推定される。

② 炭火からの放射熱によってカセットこんろのボンベが破裂してやけどを負った

平成21年5月5日（東京都、年齢不明・性別不明、軽傷）

【事故内容】

カセットこんろで炭をおこしていたところ、カセットこんろに接続していたカセットボンベが破裂し、1人がやけどを負った。

【事故原因】

カセットこんろの五徳の上に金網を載せて炭の火おこしをしていたため、カセットこんろの圧力感知安全装置が作動した後も、炭の放射熱によってカセットボンベが加熱され、爆発したものと推定される。

③ カセットコンロのボンベを正常な位置でない状態に取り付けたため、ガスが漏れて引火し、やけどを負った

平成23年8月13日（福井県、60歳代・男性、軽傷）

【事故内容】

カセットボンベを2本セットするカセットこんろを使用していたところ、ボンベ周辺から発火し、手に軽いやけどを負った。

【事故原因】

装着不良によって、カセットボンベの1本からガスが出ない状態で使用したため、燃焼中の放射熱と夏の海辺での日光等によってカセットボンベが過熱され、容器が膨張してガス漏れが発生、滞留したガスに引火し事故に至ったものと推定される。

④ 屋内で七輪を使用していたことにより一酸化炭素中毒が発生した

平成20年11月15日（山梨県、60歳代・男性、死亡）

【事故内容】

キャンプ場のバンガローで、七輪使用中に2人が死亡、1人が軽傷を負った。

【事故原因】

狭いバンガロー内で、換気を十分に行わないまま炭を入れた七輪を使用したため、一酸化炭素中毒が発生したものと推定される。

(イ) その他アウトドア用品等

① 折りたたみ椅子の座面生地が破れて転倒し、重傷を負った

平成20年8月19日（東京都、40歳代・男性、重傷）

【事故内容】

レジャー用の折りたたみ椅子を使用中に座面の生地が切れて破断したため、転倒して、重傷を負った。

【事故原因】

屋外で長期間保管されていたことによって、生地強度が低下し、破断したものと推定される。

② 冷却スプレーの過剰な吹き付けによって凍傷を負った

平成21年5月3日（地域不明、60歳代・男性、軽傷）

【事故内容】

スプレー式の冷却剤を吹き付けたバンダナを肘部に巻いていたところ、翌日水ぶくれができ、凍傷と診断された。

【事故原因】

この冷却スプレーの成分は主にLPガスと水で、LPガスの気化熱により氷を作るものである。本来1～2秒吹き付けて使用するとき、約5秒吹き付けたため氷の量が多くなり、過剰の氷に長時間（約30分）接触したため、凍傷に至ったものと推定される。

3. アウトドアにおける製品による事故の防止

アウトドアにおける製品事故を未然に防ぐため、取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用してください。不具合や故障が判明した時は、使用を中止し、製造事業者や販売店に相談してください。

(1) こんろ類、ガスボンベ等の加熱機器による事故の防止

- ① **カセットこんろを2台以上ならべて使用しない、また、大きな調理器具を使用しない**
カセットこんろを2台以上ならべて使用しないでください。
また、鍋や鉄板等、カセットこんろのカバーを覆うような大きさの調理器具は使用しないでください。
放射熱によって、ガスボンベが爆発するおそれがあります。
- ② **カセットこんろを調理以外の用途に使用しない**
カセットこんろを炭の火おこし等、調理以外の用途に使用しないでください。
加熱された炭の放射熱によって、ガスボンベが爆発するおそれがあります。
- ③ **カセットボンベを高温になる場所で使用しない**
炎天下の砂浜、アスファルト等、日光によってカセットボンベが過熱されるような場所では使用しないでください。
カセットボンベが爆発するおそれがあります。
- ④ **カセットボンベは完全に装着した状態で使用する**
カセットこんろにカセットボンベを装着する際は、取扱説明書の指示に従って適切に装着して下さい。
カセットこんろまたはカセットボンベに変形などがあり、カセットボンベを完全に装着できないまま使用すると、ガス漏れが発生して爆発するおそれがあります。
- ⑤ **七輪やカセットこんろ等を車やテントなど換気の悪い場所で使用しない**
車やテント等換気の悪い場所では、七輪やカセットこんろ等の燃焼機器は使用しないでください。
不完全燃焼によって一酸化炭素中毒が発生し、大変危険です。
- ⑥ **七輪やカセットこんろ等の加熱機器を不安定な場所で使用しない**
七輪やカセットこんろ等の加熱機器は、足場が安定した水平な場所で使用してください。
不安定な場所で使用すると、転倒して、けがを負うおそれがあります。
また、アウトドアで使用する折りたたみテーブルは軽量なものが多く、カセットこんろなどの加熱機器を折りたたみテーブルの上に置いて使用すると、身体がぶつかるなどの衝撃によってひっくり返り、けがを負うおそれがあります。バーベキュー用テーブルなど、加熱機器を設置することを想定して販売されている製品以外の上で、加熱機器は使用しないでください。

(2) その他アウトドア用品による事故の防止

① 折りたたみ椅子やテーブル等、製品の保管状態に注意する

折りたたみ椅子やテーブル等は、取扱説明書の指示に従って適切に保管してください。
屋外で放置すると、紫外線や雨、湿気などによって製品のプラスチック部分や繊維部分等の強度が低下して、使用時に破損するおそれがあります。

② 冷却スプレーの過剰な吹き付けに注意する

冷却スプレーを使用する際は、使用上の注意を読み、指定された距離や時間等を守ってください。

指定された距離、時間等を超えて使用すると凍傷を負うおそれがあります。

また、冷却スプレーには可燃性ガスが含まれるため、火気のそばで使用しないでください。例えば、使用后すぐにタバコに火をつけるなどによって引火するおそれがあります。

4. 社告・リコール製品による事故の防止

表4に「社告・リコール製品による事故の製品別の被害状況」を示します。

平成20年度～平成24年度までの5年間に発生したアウトドアでの製品事故40件のうち、社告・リコール^{※8}を行った製品による、社告・リコール事象の事故は5件ありました。

事故の事例としては、

- 携帯用ガスバーナーの火口部分がネジの緩みで脱落し、脱落した部分を素手で拾い上げたため、指にやけどを負った。
- バーベキューこんろの塗装に耐熱性が十分でない塗料が使用されたため、バーベキューこんろ底部の温度上昇に耐えられず、塗膜が発火して、塗膜の剥離及び異常燃焼に至った。

…等があります。

表4 社告・リコール製品による事故の製品別の被害状況^{※9}

被害状況 製品の種類	人的被害			物的被害		合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	
こんろ類			1 (1)		2	3 (1)
ガスバーナー			2 (2)			2 (2)
合計			3 (3)		2	5 (3)

リコール製品をそのまま使い続けることは大変危険ですので、お使いの製品がリコール製品に該当している場合は、不具合が認識されない場合でも、直ちに使用を中止して、製造業者や販売店に連絡して下さい。

(※8) 社告・リコールには消費者への注意喚起等を含む。

(※9) 平成26年4月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている

社告・リコール情報の検索

NITEホームページにおいて、平成元年度（1989年度）以降に製造業者、販売業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、社告・リコール情報の検索を行うことができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE」、「リコール」等の単語で検索してください。

以上

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦
担当者 池谷、長田、西澤

- 記者説明会前日及び当日

電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870

- 記者説明会前々日まで及び翌日以降

電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品起因であるが、その原因が不明のもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの(G3は除く)	原因不明
	H	調査中のもの	調査中のもの

表 社告・リコール一覧※

公表日	品名	事業者名	製品名
2013/09/11	ガスランタン用 マントル	パール金属株式会 社	[社告等の内容] 当製品において、ヒモ部分に法令で規制されている「アスベ スト（クリソタイル（白石綿）」が混入していることが判明。 [URL] http://www.captainstag.net/img/130911.pdf
2008/05/31	フィールドチャ ッカー	新富士バーナー株 式会社	[社告等の内容] 燃焼によるバルブの温度上昇により火口部分を 固定する六 角穴付き止めねじが緩み、 その際に火口部分に継続的な振動や 衝撃が加わることで火口部分が脱落する可能性があることが判 明。 [URL] http://www.shinfuji.co.jp/notice/20080531/
2010/09/21	携帯発電機	富士重工業株式会 社	[社告等の内容] 当製品において、燃料タンク出口ニップル部の劣化による亀裂 や折損が生じ燃料漏れが発生。 [URL] http://www.fhi.co.jp/recall/data/10-09-21.html
2009/04/23	カートリッジガ スこんろ	株式会社スノーピ ーク	[社告等の内容] ガスカートリッジと本体を接続するホースが抜けてしまう事 が判明。 [URL] http://www.snowpeak.co.jp/info/collects/gs-320/index.html

(※) N I T E ホームページで公開している社告・リコール情報のうち、平成 2 0 年度以降に報告されたもの